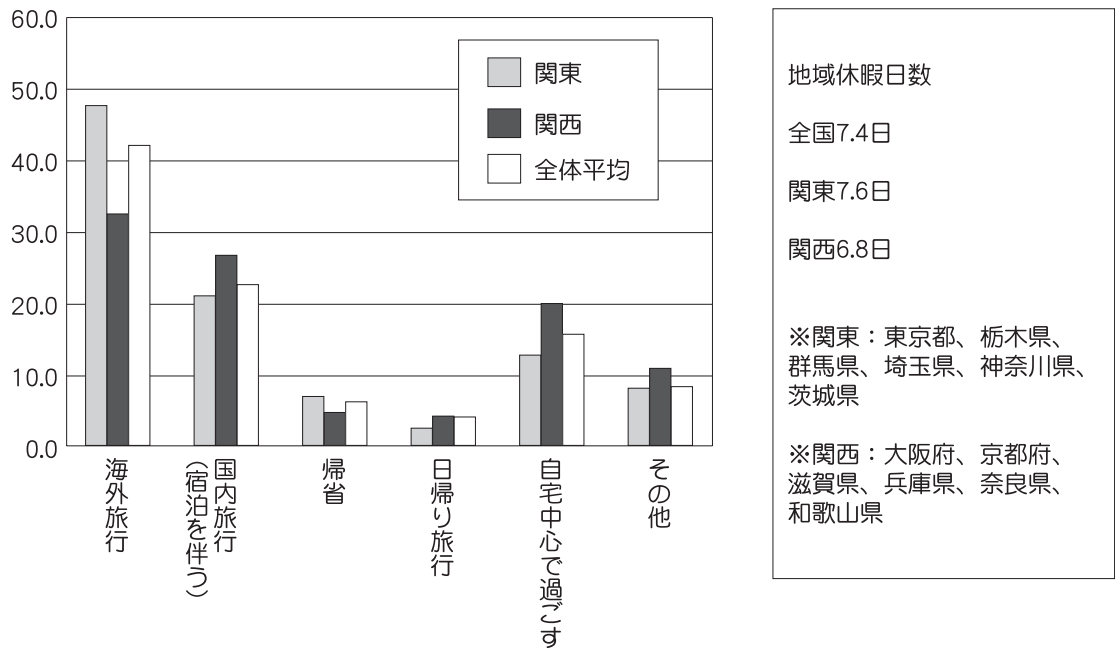
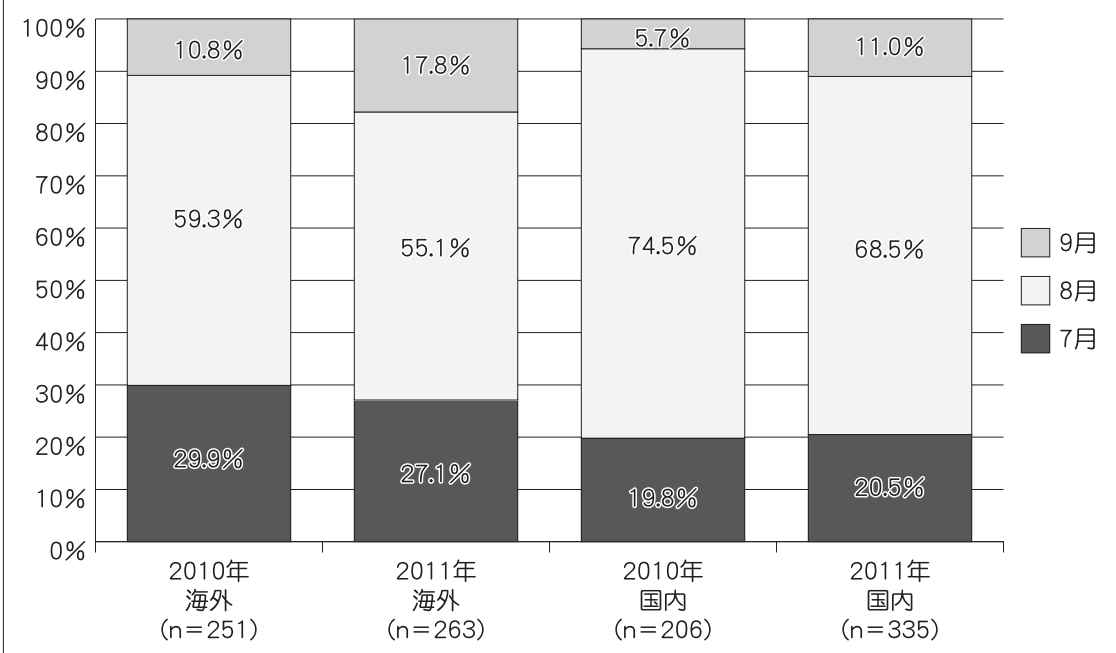


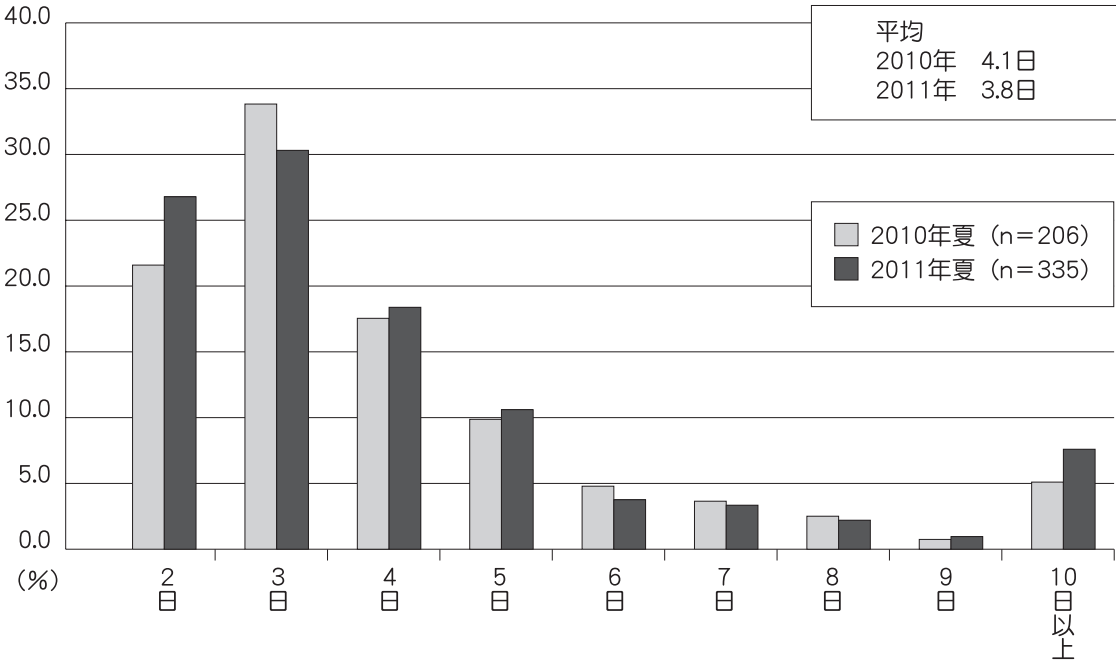
2011年夏の休暇の過ごし方（地域別）（全体n=1,169）



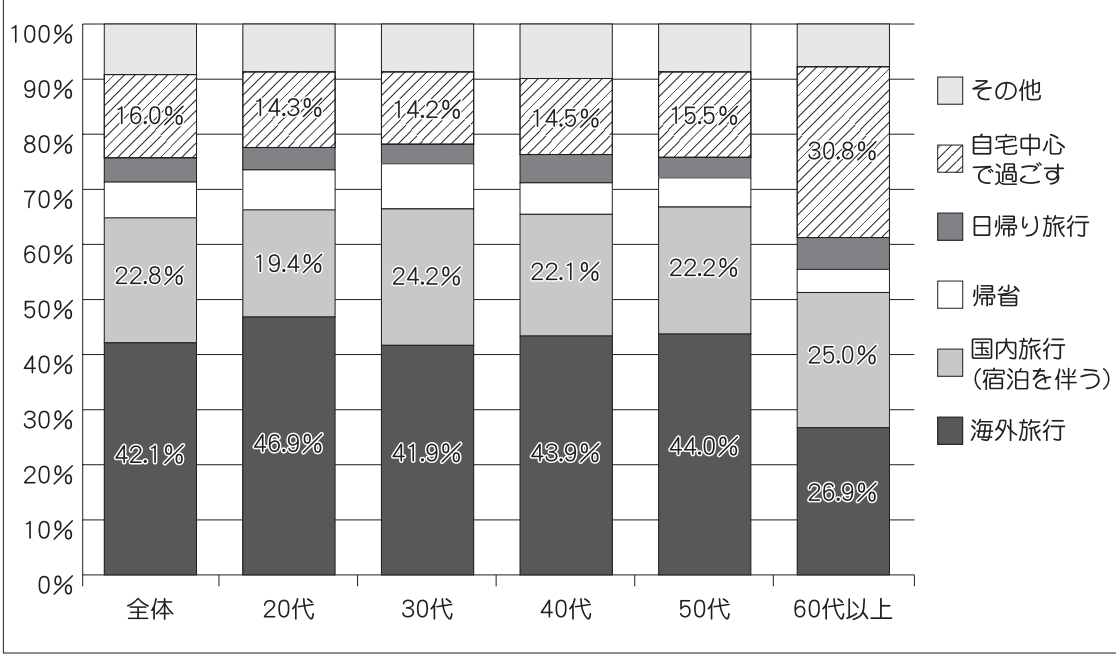
海外旅行・国内旅行の開始月



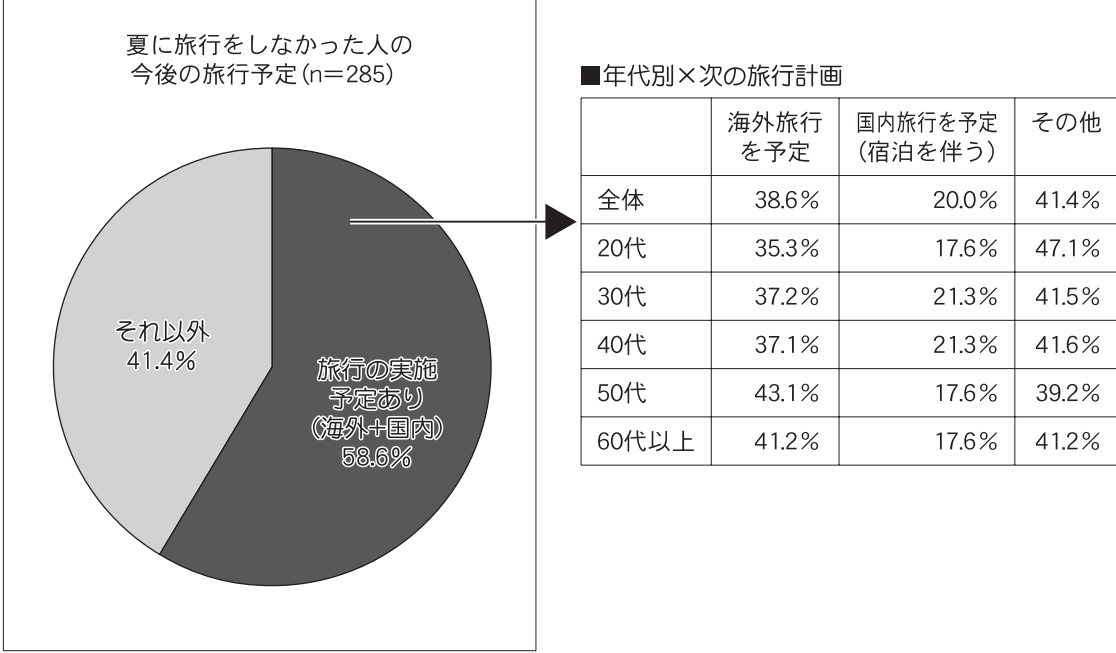
国内旅行の日数



年代別夏の休暇の過ごし方（全体n=1,169）



夏に旅行を実施しなかった人の今後の旅行予定



今夏の国内旅行

日数減も、費用は微増に

フォートラベル調査

フォートラベルはこのほど、同社が運営する旅行のクチコミサイト「フォートラベル」で会員を対象に行った、今年の夏休みの旅行動向調査の結果を発表した。調査によると、今年の国内旅行の旅行期間は平均3・8日間で、昨年より0・3日減少。その一方で旅行費用の平均は6・4万円だが、こちらも前年より5・5%減の22・6%にと小幡ながら増加した。夏休みの連続休暇日数は平均7・4日で前年より0・4日減少。取得日数は「5日間」（16・9%）、「9日間」（16・2%）、「6日間」（11・1%）の順に多かった。この順番は昨年と変わらなかったが取得日数が4日以下の人が減少し、6日間・9日間が増加した。取得開始日は昨年同様8月中旬に取得する人が多かったが、8月全体で見ると昨年より3・5%減少し66・0%。一方で9月以降に夏休みを取得する人が増加した。フォートラベルでは「9月に2週続けて3連休があるなど、旅行を計画するのに磨がよいことが関係しているのでは」とみる。休暇の過ごし方では、「海外旅行」が昨年より9・8%増の42・9%で最も多かった。次いで多かったのは「国内旅行」だが、こちらは前年より5・5%減の22・6%にと小幡ながら増加した。このほか「帰省」「日帰り」「自宅中心」のいずれもが前年を下回った。年代別の国内旅行の実施状況は、「60代以上」が25・0%で最も高く、以下「30代」「50代」が続いた。調査は8月22～28日に実施。有効回答を得た169人の内訳は、男性44・1%、女性55・9%。最近1年間の旅行回数は、海外旅行の平均が1・8回、国内旅行の平均が3・2回。

旅行動向と休暇の概要について

		2011年夏(昨年対比) (n=1,169)	2010年夏 (n=772)
連続休暇日数の平均	全体	7.4日(▼0.4)	7.8日
	海外旅行	9.1日(▼0.1)	9.2日
	国内旅行	5.9日(▼1.4)	6.1日
	帰省	6.5日(▼0.2)	7.8日
	日帰り旅行	6.5日(+1.1)	5.4日
	自宅中心	5.3日(▼2.3)	7.6日
過ごし方	海外旅行	42.9%(+9.8)	33.1%
	国内旅行	22.6%(▼5.5)	28.1%
	帰省	5.7%(▼2.7)	8.4%
	日帰り旅行	3.9%(▼1.0)	4.9%
	自宅中心	15.1%(▼3.4)	18.5%
	その他	9.7%(+2.7)	7.0%
旅行費用の平均	海外旅行	22.4万円(+2.3)	20.1万円
	国内旅行	6.4万円(+0.2)	6.2万円
旅行日数の平均	海外旅行	8.1日(+0.6)	7.5日
	国内旅行	3.8日(▼0.3)	4.1日

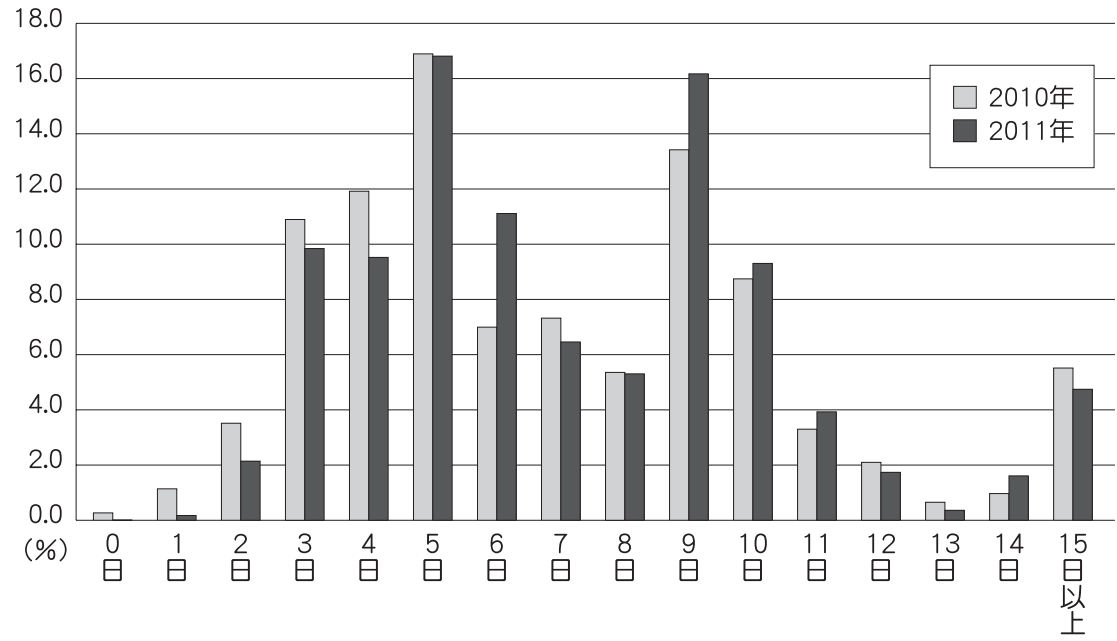
海外旅行先

	2010年夏		2011年夏
1位	韓国	1位	タイ
2位	中国	2位	韓国
3位	タイ	3位	中国
4位	インドネシア マレーシア	4位	インドネシア
		5位	台湾

国内旅行先

	2010年夏		2011年夏
1位	北海道	1位	北海道
2位	長野県	2位	沖縄県
3位	沖縄県	3位	長野県
4位	静岡県	4位	静岡県
5位	東京都	5位	東京都 京都府

夏休みの連続休暇日数（n=727）
（特に決まった休みがない人を除く）



旅行計画において例年と違った点があったかどうか

